

震災復旧・復興に資する技術情報を公表しました !!

国土交通省では、民間企業などの有用な新技術の活用促進のため新技術活用システム (NETIS) を運用しています。

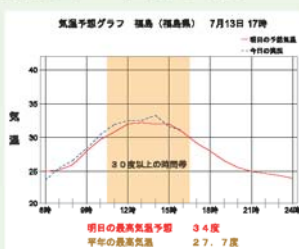
今般の東日本大震災では、地震、津波、液状化などによる甚大な被害が生じました。この度、同システムに登録された技術を対象として、復旧・復興に資する技術を募り国土交通省ホームページ上で公表しました。約 1700 件の技術に関して、ジャンル別検索やキーワード検索により震災対応上の技術的特徴や災害対応関連工事又は業務における活用実績などを閲覧することができます。震災復旧・復興の現場でご活用ください。

「NETIS 震災復旧・復興支援サイト」 <http://www.s-netis.mlit.go.jp>

高温注意情報、高潮関連情報の発表などを始めました。

気象庁は、この夏、広く節電の取り組みがなされる中で、熱中症への注意を呼びかけるため、新たな「高温注意情報」の発表を開始するなど、熱中症対策に関する気象情報を拡充しました。

- ① 翌日又は当日の毎日5時、11時、17時の天気予報の後に「主な地点の気温予測グラフ」を発表し、最高気温が概ね35℃以上になることが予想される場合は「高温注意情報」を発表します。(一部の地域では35℃以外を用いることもあります)



<http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/kouon/index.html>

- ② 向こう1週間で最高気温が35℃以上になることが予想される場合に「高温に関する気象情報」を発表します。

<http://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/> (参照したい地方又は府県を選択してください)

また、夏から秋にかけては、潮位が年間で最も高くなります。東北地方太平洋沖地震に伴う地盤沈下の大きかった地域では浸水に対するより一層の注意が必要です。東北から関東北部にかけての太平洋沿岸の潮位、満潮・干潮時刻及び波の高さなどの情報をご覧になれますので、台風や低気圧の接近時など海岸近くで各種作業を行う際は、高潮関連情報をご活用ください。

http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/tide/takashio_portal.html

なお、復旧・復興事業などで野外活動を行う方々の安全対策として携帯電話でも今後の気象の見通しが閲覧できるようになりました。気象ナウキャスト (降水、雷、竜巻発生確度) をご利用ください。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

東日本大震災の復旧・復興に向けた対応策をまとめました。

国土交通省では、東日本大震災を受けて、復旧・復興に向けた施策の検討を進め、この度対応策をとりまとめ公表致しました。

今後の本格的な復旧・復興に向けて、①被災者の生活再建と安定 ②新たな発想による復興まちづくり ③地域の産業・経済の再生とそれを支える都市・交通基盤 ④災害に強い国土構造への再構築などに取り組んで参ります。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

「国土交通省における東日本大震災の復旧・復興に向けた対応」
<http://www.mlit.go.jp/common/000147381.pdf>

MLIT NAVI

Information

8/9月号